

令和2年8月  
子ども若者はぐくみ局

## 京都こども宅食プロジェクトのモデル実施の結果について

### 1 対象世帯

伏見区の3小学校区の支援を必要とする世帯 約130世帯

### 2 実施内容

#### (1) 周知等

- ・ 本市から、対象世帯に対しチラシ配布による周知
- ・ 対象世帯から、あだち福祉会へLINEアプリ等による利用申請、世帯登録

#### (2) 配送

- ・ 2月～6月に、計4回の配送を実施
- ・ 米、レトルト商品、菓子類等の食品や、トイレットペーパー等の日用品、マスク等の衛生用品を配送
- ・ 配送時には、子育てに関する本市の支援施策や地域の取組等を掲載したリーフレットを同封

##### <配送日等>

- |       |                  |
|-------|------------------|
| 第1回配送 | 2月22日から、93世帯へ発送  |
| 第2回配送 | 3月20日から、124世帯へ発送 |
| 第3回配送 | 5月25日から、133世帯へ配送 |
| 第4回配送 | 6月15日から、135世帯へ配送 |

#### (3) 利用者の声

##### <アンケート結果>

手 法：WEB入力方式

実施時期：令和2年3月20日～4月30日

調査対象：124世帯、回答数：73世帯、回収率：59%

主な回答等

- ・ 配送に対する満足度96%、今後も利用を希望する人の割合92%
- ・ 区役所・支所の相談窓口を利用したことがある人は41%
- ・ 「困ったとき、悩んだときの相談相手や場所がわからない」と回答した人が38%
- ・ 「配送により節約したお金を子どものために使うことができた」、  
「気持ちが豊かになった」といった変化を感じる利用者が多数

### 3 事業効果, 課題

- ・ 実際に利用した方の満足度は高い。
- ・ 経済的な支援だけでなく, 精神的な負担軽減にもつながっており, 行政だけでは手が届きにくい支援ツールの一つとして, 有効性が確認できた。
- ・ 対象世帯の中には, 行政の発信する情報が届いていない世帯も多い。京都こども宅食プロジェクトのLINEアプリ等を活用することで, ダイレクトに子育て支援に関する様々な情報を対象世帯へ届けられる。
- ・ 対象世帯の「課題」や「困り」に気づき, 行政機関等へつなげるためには, 取組の継続と, 運営主体と対象世帯の間での更なる関係づくりが必要である。